

交換留学体験感想文  
李藍宇（リ アイウ）

私は4月1日に御茶水女子大学での交換留学生活を開始しました。今振り返ると、まるで昨日の出来事のように鮮明に感じます。到着した初日の夜、夕陽が特に美しく、思わず見とれてしまいました。日本の空は、地域ごとの違いなのか、どこか特別な美しさを持っているように感じます。音羽館の7階にあるバルコニーで勉強するのが私のお気に入りの時間で、音楽を聴きながら本を読むひとときや、時折東京の夜空を眺める瞬間が、私にとって大変幸せな時間となっています。



まず、御茶水女子大学の国際課の皆様、指導教官の谷口幸代先生、授業を担当してくださった先生方、私のチューターの鈴木ひよりさん、音羽館のスタッフの皆様、そして御茶水女子大学の学生の皆様に心から感謝申し上げます。皆様のおかげで、初めての留学生活がスムーズにスタートし、充実した学びの時間を持つことができました。最初は何も分からず不安も多かったのですが、皆様の温かいサポートと

親切な指導によって、次第に自信を持つことができ、無事にすべての授業を終えることができました。

この半年間で、多くの貴重な知識を得ることができました。特に、荻原先生の日本での就職活動に関する授業は、日本の就職事情や活動における注意点についての理解を深めるうえで大変役立ちました。これらの情報は、今後のキャリアにとって非常に重要なものであり、大いに助けられました。また、指導教官の谷口先生には、私の研究テーマである阿部知二に関して多くの貴重なアドバイスをいただきました。阿部知二という作家はあまり知られておらず、国立国会図書館での資料も限られていました。そのため、谷口先生から阿部知二の故郷を訪れ、現地の研究会に参加することを勧められました。6月末には岡山県美作市を訪れ、阿部知二研究会に参加し、地元の方々と楽しく交流することができました。美作市の自然豊かな風景や初めての露天風呂体験は、私にとって深い感動を与えてくれました。美作での経験を通じて、素晴らしい人々と出会い、素敵な風景を堪能することができました。もしこの研究テーマを選んでいなかったら、こんなに多くの素晴らしい体験をする機会はなかったと思います。すべてが運命的に思え、この選択をして本当に良かったと感じています。

人生とは何か？多くの人が一度は考えたことがある問いだと思います。私の留学経験を通じて、私の答えは「人生はさまざまな体験の集合体」であると感じました。この貴重な機会を与えてくださった御茶水女子大学での学びや、心温まる人々との出会い、日本の文化を深く体験したことは、私の人生において最も大切な思い出の一つとなるでしょう。今後の人生においても、この経験を大切に、役立てていきたいと思っています。

